

サンデーサイエンス

秋の実りで壁掛けをつくろう

担当：植物研究室

1 内容

様々な形の種子に触れながら壁飾りをつくることで、種子や実の形態的な多様性に気づく。

2 準備物

様々な植物の実や種子（クヌギやコナラなどのドングリ、ヤブツバキやハンノキなどの木の実、イロハモミジやアオギリなどの成熟した種子）、木工用ボンド、紙やすり、ティッシュペーパー、ペン、壁掛け用の台（壁掛け用の紐がついていると使いやすい）

3 手順

- (1) 壁掛け用の台の上に準備した木の実などを配置してレイアウトを考える。
- (2) レイアウトした木の実などを壁掛け用の台に木工用ボンドで接着する。
- (3) ペンで台に種名や絵などを描き加える。



木の実などの配置を考える



木の実などの配置をきめる



木の実に絵を描く



木の実の表面を紙やすりで削る



削った表面にボンドをつけてはる



突起のある木の実はひもでつける



ペンで台に種名などを書き加える

4 注意点

- ・壁掛け用の台は既製品でよい。極力、壁掛け用のひもがついているものを選択すること。
- ・やすりを使うので、けがに注意する。
- ・木の実や種子は自分で採取したものを利用すると、作品に対する興味・関心が高くなる。採取の際に、木の実や種子などの種名や特徴などを伝えるようにすると良い。

5 参考資料

身近な草木の実とタネのハンドブック. 文一総合出版. 多田 多恵子.